

チームオレンジ ~ このまちで自分らしく生きていく ~



1. 基本情報(令和7年1月現在)

市・町名	島原市		
人口	高齢者人口	高齢者率	面積
41,974	15,570 人	37.10%	82.96km ²

2. チームの概要

チーム名	チームオレンジ「ことだま」		
開始時期	2023年 10月 ~		
実施主体	☐ 市町 ☒ 地域包括支援センター ☐ 住民・ボランティア ☐ 社会福祉協議会 ☒ その他 (場所を提供している介護事業所)		
チームオレンジ コーディネーターの属性	認知症地域支援推進員(島原市地域包括支援センター)		
メンバー構成	認知症サポーター、認知症当事者、家族(支援者)、認知症地域支援推進員、地域包括支援センター		
活動頻度	月2回 10:00~12:00(2H)		
チームオレンジの類型	☐ 第1類型 共生志向の標準タイプ ☒ 第2類型 既存拠点活用タイプ ☐ 第3類型 拠点を設置しない個別支援型タイプ ☐ その他		
チームオレンジ三つの基本について	☒ 3つの基本を満たしている ☐ 3つの基本は満たしていないものの仕組みが構築されている。		
運営財源	☐ 市町からの委託 ☐ 市町からの補助 ☒ 会費・参加費 ☒ その他 (包括運営費) 上記の財源 ☐ 市町一般財源 ☐ 地域支援事業交付金 ☐ その他 ()		

3. チームオレンジの設置に至ったプロセス

認知症啓発、認知症地域支援推進員等により本人ミーティングを開催し同時進行にてボランティア養成講座受講・認知症サポーター養成講座受講後ステップアップ研修を実施。

認知症施策推進大綱に基づく認知症施策の推進

認知症施策の共生と予防、本人発信、本人支援を地域で推進するための取り組み

4. 活動内容

毎月2回10:00～12:00まで場所は地域の事業所の一部を借用し認知症の人、本人・支援者等達が集い自らの体験や気持ち、社会に望むことを話し合う場であり本人の声や支援者等の声に傾聴しながら、本人ミーティングを実施。本人・支援者等の声を丁寧に聴き、カードにあげ本人に記載してもらいサポーターの方たちが本人のやりたいことにチャレンジに向けサポートしている

5. 活動を進めて行く上で工夫したこと・配慮したこと

介護予防ボランティア養成講座受講・認知症サポーター受講・ステップアップ講座の受講の調整。チームオレンジのマッチング ボランティアの方の活動としてのチームオレンジが同じメンバーでの支援

6. ステップアップ講座の開催状況・講座内容について

認知症サポーター受講者実施状況に合わせ開催。R5.10に県すこやか財団 オレンジチューター、チームオレンジ勉強会及びステップアップ講座を島原市と島原地域広域市町村圏組合介護保険課が開催し、介護予防ボランティア受講

7. 活動してきたことで得られた効果・見えてきた課題

【効果】

本人ミーティング本人のやりたいことにチャレンジ本人の声をオレンジカードに記載し、やりたいことを実際にチャレンジが出来ている。開設当初より継続して参加しているボランティアの方が当時者や家族に目を配り、話を聴いたり、レクリエーションの提案をしたりなど、それぞれが力を発揮されるようになった。

【課題】

介護予防ボランティアの方を中心に当時者の声を丁寧に聴き、かわりながら本人ミーティングの体制を整備する必要がある

8. チームのアピールポイント

本人・家族のミーティングの場である。今後の本人や家族等支援者の声を大切に住み慣れた地域で安心した在宅での生活が送れるようチームで支援できる事。

日頃の思いを語り合える場である

9. 今後の活動について

今後も本人ミーティングの開催に向け認知症の理解や参加者全員が支え支え合いながら住み慣れた地域で過ごすことが出来るよう市内全域に周知ができ、それぞれの地域に安心できる本人・家族のミーティングの場がつかれ「認知症になってもよろしくね」と言えるまちづくりを目指していけるよう支援する

R7年度より、ボランティアの方を代表、主導的な立場を担ってもらい活動を進めていく